

文教厚生 常任委員会

◎平原 志保 〇宮田 竜二 山口 仁美 鈴木てるみ 徳田 修和
〇委員長 〇副委員長
〇飯屋 国治 〇池田 守 〇前川原正人

●審査した議案・陳情を掲載しています。

Table with 3 columns: 議案番号, 議案内容, 結果. Includes items like 霧島市国民健康保険税条例の一部改正について, 霧島市福祉給食センター設置及び管理に関する条例の一部改正について, etc.

霧島市国民健康保険税条例の一部改正

平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村は国民健康保険税を賦課・徴収し、都道府県に納付金を納め、県が示す標準保険税率等を基に税率等を設定するため、本条例の所要の改正をしようとするものとの説明。

問 所得250万円の世帯では国保税は、50万6200円となる。子育て世帯の所得階層の軽減を図るべきではないか。

答 所得階層では、負担が増えるケースもある。市長も恒常的な一般会計繰入れによる軽減策は行うべきではないとの判断をした。

問 県下19市のなかでは、据え置き、値上げ、値下げの自治体があるが把握しているのか。

答 税率などは把握していないが、19市の自治体で税率の据え置きが9市、引き上げ予定が9市、検討中が1市である。

霧島市福祉給食センター設置及び管理に関する条例の一部改正

▼平成22年度から始めた特別措置や特別減免が撤廃される。公約では「子育て環境日本一を目指す」とあり、これでは子育て世帯の負担は重くなるとの反対討論。

7割・5割・2割の減免など、低所得者への対応もされている。市全体の2割強の方の加入する国保加入者世帯への配慮もあり、セーフティネットとして役割を果たすために安定した運営を行うっていくことが重要であるとの賛成討論がありました。

霧島市福山老人給食センターの業務を霧島市隼人老人給食センターに集約し、経費節減及び事業の合理化を図るもので、本条例の所要の改正をしようとするものとの説明。

霧島市福山老人給食センターの業務を霧島市隼人老人給食センターに集約し、経費節減及び事業の合理化を図るもので、本条例の所要の改正をしようとするものとの説明。

問 事業を集約した経緯を説明してほしい。また配食数はどうなっているのか。

答 平成18年以前から老人及び障がい者に向けての配食事業を実施しており、隼人、牧園、福山は、社会福祉協議会が指定管理を受けて運営してきた。隼人給食センターの調理能力に余力がある為、効率化を目的に集約した。福山と隼人の配食数は、11月で、福山で1日2回1364食である。隼人は、6436食を調理している。



老人給食センターが入っている隼人総合福祉センター

▼福山老人給食センターの廃止は、地元の雇用場所がなくなるといふことで、行政として配慮をすべきとの反対討論がありました。

霧島市介護保険条例の一部改正
平成30年度から32年度までの「第7期介護保険事業計画」を実施し、介護保険条例の所要の改正をする。基準となる第5段階を月額5980円、年額7万1760円としている。公費による低所得者の保険料軽減を強化するため、第1段階で、更に調整率を0.05上乘せして軽減するものとの説明。

問 4億円を財源に充てたということであるが、負担軽減について、どのような議論したのか。

答 基金をどれだけ活用し、保険料の上昇を抑えるかというような検討があった。長期的な視点に立って6億円強の基金のうち4億円を活用することとした。

▼基準額の年額保険料は、6万6000円が7万1760円に値上げとなる。本市では所得段階は9段階であるが、さらなる細分化負担軽減している自治体もあり、低所得者への配慮が求められるとの反対討論がありました。

清水保育園民営化に伴う移管先の再検討を求める陳情書

陳情者の説明では、平成29年9月30日に「民営化にあたり移管先について」の選考委員会が行われた。1年延期という結果が出て、保護者の方は誰も納得しなかったため陳情書を提出したとの説明。

問 選考過程における不信感や保育方針、具体的な保育の内容、行事が増えるのではないかなど不満があるのか。
答 市役所側の「学園と歩み寄ってください」の一点張りの対応に不信感がある。

▼民間事業者への移行期間は1年ある。それを担保することや、民意を反映させるという点でも陳情書は採択をすべきとの賛成討論。
不安や意見の行き違いが見受けられるが、お互い歩み寄って話し合いをしていく意志が保護者側にも見られてきている。双方の歩み寄りを一番大切にし、陳情は不採択すべきとの反対討論がありました。

霧島市の医療を充実するための陳情書

2016年の国民生活調査では、全世帯の56.5%で生活が苦しいと答えている。国保事業の都道府県化により、納付金を100%納める必要がある。一般会計の繰入れによる軽減策を実現していただきたいと、陳情書を提出したとの説明。

問 医療費の抑制として医師会、薬剤師会、歯科医師会3師会との連携の取り組みはどうか。

答 医療費では、薬代が高くジェネリック医薬品への変更をしている。鹿児島県では、全国平均64.1%に対して72.6%がジェネリック医薬品に変更し、全国的にも2位で県医師会を挙げて薬の負担軽減に努力している。

▼昨年の6月に、保険証のない市民が、市役所窓口で相談中に倒れ、死亡された事案も発生した。市民の暮らしと福祉を守ることは市の仕事である。

負担軽減のために、一般会計から繰り入れていく県内19市のなかで、薩摩川内市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、伊佐市、指宿市、南九州市が行っている。県下第二の霧島市として、思い切った取組を行うべきとの賛成討論がありました。

産業建設 常任委員会

◎池田 綱雄 〇厚地 覺 松枝 正浩 愛甲 信雄 木野田 誠
有村 隆志 中村 正人 植山 利博 蔵原 勇 〇委員長 〇副委員長

●審査した議案を掲載しています。

議案第15号 指定管理者の指定について（西郷公園） 全会一致で可決

指定管理者の指定（西郷公園）

西郷公園の指定管理者を(有)河内菌本舗に、平成30年4月1日から5年間の管理を行わせようとするものとの説明。

問 公共施設管理計画で、この施設はどうなっているか。

答 多くの方々からの寄付で建てられた銅像があることから、今後も市が管理し効果的な施設運営をしていくうえで指定管理が適切と考える。

問 公募の参加状況はどうであったか。

答 事前の現地説明会に、霧島市内から(有)河内菌本舗の1社、鹿児島市と始良市から1社ずつ参加され、最終的に(有)河内菌本舗のみが申請した。

問 選定意見に、霧島市の農産品、特産品等の販売促進や販路開拓・拡大を踏まえた考え方を評価

したとあるが内容は何か。

答 地域の特産物である梨、ぶどう、お茶、特産品協会の加工品など、特色ある品揃えをしたいとのことであった。

問 銅像を見やすくするために、周囲の木の伐採と、正面入口のバリアフリーを考えていないか。

答 樹木は適切に処理したい。バリアフリー化については、正面から入って両サイドのスロープはあるが、下りた所が土のため、スムーズに入れるよう早急に整備したい。

▼今年は、明治維新150年、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映と格好の時期である。積極的に情報発信をしながら、観光客の誘致や利活用に取り組んでほしいとの意見がありました。